

# こいた 小板まきばの里通信Vol 7.2

～大変身した草花の種を探してみよう～

小板まきばの里へようこそ。小板まきばの里は西中国山地国定公園内の南に深入山、北に臥竜山で挟まれた標高750mの山里、小板集落の一角にあります。2018年11月にこの地に移住してきたスタッフ2名が60年以上前に住人がいなくなり荒地と化した耕作放棄地を、この土地の自然の恵みを活用しながら手作りで開拓しています。このキャンプ場ならではの豊かな自然と波乱万丈の開拓現場の探索をお楽しみください。

## ■ キャンプ場周辺で秋の植物を探索しよう！



ツルリンドウ



アキチョウジ



ヒヨドリバナ



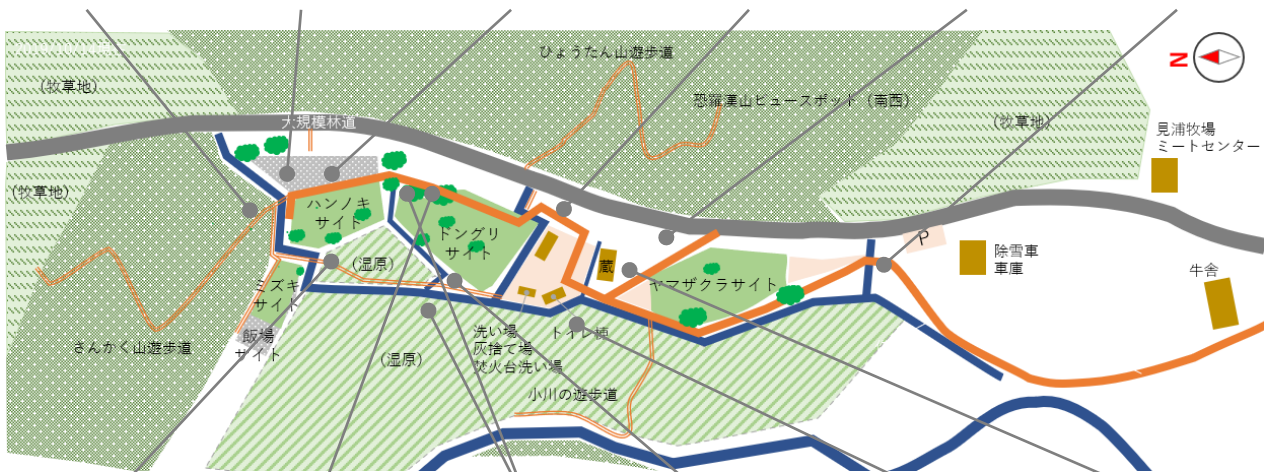
コバノガマズミ



ヤマボウシ



ナナカマド



ママコノ  
シリヌグイ



ツチアケビ



マムシグサ



シロヨメナ



ノブドウ



イヌタデ

## ■ 里山の自然観察 ～大変身した草花の種を探してみよう～

10月、朝晩の冷え込みが厳しくなり始めると、草木は大急ぎで種を实らせて子孫を残そうとします。その中には花からは想像がつかないような姿の種をつけるものもあります。薄紫の目立たない花のツルリンドウは、直径約1cmと意外に大きな鮮やかなワイン色の種ができたように目につくようになります。緑色から黄色、オレンジ色に変化するカラフルな粒々がぎっしりと茎の先端に固まってついているのはマムシグサ。黒っぽい筒状の花のどこからこんな種が出てきたのかとびっくりします。長さが10cm程もある赤いナスのような形をした実がいくつもぶらさがっているのはツチアケビ。黄色と黄土色の地味な花からは想像もつかない姿です。この季節ならではの花の姿から大変身した草花の種を探してみましよう。